

ネットワーク認証クライアントアプリ“ SmartSignOn for eFEREC”をリリース
エンドポイントアクセス管理装置 eFEREC 専用。 iOS/iPadOS 版も提供開始
スマートデバイスで、デバイス認証(指紋・顔等)によるログインも可能

ネットワーク関連製品の企画・開発、販売を行う株式会社ネットスプリング（本社：東京都港区、代表取締役社長：西武 進）は、同社の新エンドポイントアクセス管理装置 eFEREC（イーフェレック）専用のネットワーク認証クライアントアプリ「SmartSignOn for eFEREC」（スマートサインオン for eFEREC。略称：SSO4eF）iOS/iPadOS 版を開発、12月3日より正式提供を開始します。本 SmartSignOn for eFEREC アプリ iOS/iPadOS 版（V0.9）は、App Store から無償で入手可能。提供済みの Android 版（Android スマートフォン向け）含めてほとんどのスマートフォンやタブレット端末で SSO4eF アプリが利用可能となります。

SmartSignOn for eFEREC（iOS 版・Android 版）は、スマートデバイスで WiFi アクセスポイントから簡単にネットワーク接続を可能にするクライアントアプリで、デバイス内に事前設定されたユーザー ID およびパスワードを利用してワンタッチで eFEREC の Web 認証を受けられるものです。スマートデバイスでのユーザー ID やパスワードの入力の煩雑さを解消し、移動中においても容易に eFEREC にログインすることが可能です。

さらに今回の SSO4eF からは、スマートデバイスのデバイス認証(指紋・顔・PIN)機能を利用してワンタッチでの認証機能を提供しており、利便性と共に安全性を高めることが可能です。また、eFEREC の管理者設定においてスマートデバイスからの認証時にデバイス認証機能を必須化することも可能としています。



SmartSignOn
for eFEREC
アイコン



i)アプリ起動時 ii)ログインボタン押下 iii)デバイス認証 iv)ログイン成功

ii)において、Touch ID、Face ID やパスコード認証のいずれかで成功するとログイン成功になります。また、自動ログインを設定した場合は、アプリ起動後直ちに iii)の処理でデバイス認証することが可能となります。

【SmartSignOn for FEREC iOS 版 V0.9 の動作環境】

- ・ iOS 12.0 以降および iPadOS 13.0 以降サポート
- ・ eFEREC v1.2 以降

【SmartSignOn for eFEREC の基本機能 < iOS/iPadOS 版 (Android 版共通) > 機能】

- ・ eFEREC 認証時のワンタッチによるログオン、ログオフ
 - 事前のユーザーID およびパスワード登録
 - 自動ログイン有効化
- ・ デバイス認証機能
 - ◇ Touch ID(指紋認証)、Face ID(顔認証)、パスコード (PIN コード)認証可能
 - ◇ ログオン時にデバイス認証の有効・無効化設定可能
 - ◇ ワンタッチによる認証も可能
- ・ eFEREC 自動検出用ホスト設定
- ・ 無線アクセスポイント接続先(SSID 関連付け)設定
- ・ 日英環境対応
- ・ eFEREC v1.2 以降対応 (旧 FEREC シリーズ非対応)
(注) v1.2 の新機能 SAML オプション機能非対応

【SmartSignOn for eFEREC iOS/iPadOS 版提供形態】

- ・ オンラインダウンロードによる無償提供
- ・ App Store からダウンロード提供 (下記 URL 参照)
<https://itunes.apple.com/jp/app/id1488568636?mt=8>

■ネットワークエンドポイントアクセス管理装置「eFEREC」について

eFEREC は、ネットワーク内部からのアクセスを個別に認証・管理し、不正アクセスなどによる情報漏えいを防止するアプライアンス機器 FEREC (旧) のコンセプトを元に、オンプレミスとクラウドのハイブリッドなネットワークなど、新しいネットワークの時代に適合するように新規に開発されたエンドポイントアクセス管理装置です。基本機能として提供される認証ゲートウェイは、利用者に端末上で Web ブラウザを起動すると強制的に表示される認証画面でユーザー名とパスワードを入力することにより実現しています。新しい eFEREC では複数の VLAN をハンドリングすることが可能で、VLAN パススルー機能や AUP(利用規定)の承認ステップを容易に追加することが可能となっています。また、eFEREC v1.2 では SAML オプション機能が追加実装されており Shibboleth 等による SSO が可能となっています。

FEREC (旧) シリーズは、2003 年 2 月の販売開始以来、大学、高等専門学校などをはじめとする学術機関を中心に、医療機関や公共機関などでも、運用管理が容易で“現場で継続的に使える製品”として好評を得てきました。既に全国の国公立をはじめ私立を含む大学、高等専門学校を含めて 100 以上の大学・学部・センターに導入されており、一般企業においても工場等での導入事例が多くあります。

eFEREC 製品専用 Web サイト：<http://www.eferec.jp>

■株式会社ネットスプリングについて

ネットスプリングは広島大学の学内向けのネットワーク認証ソフトウェアを元に LAN アクセス管理アプライアンス「FEREC」(旧 FEREC)を開発し 2003 年 2 月に販売を開始。2011 年 3 月時点で日本国内の大学セグメントにおいて導入率 15%を超えるまでに浸透しています。2006 年末には、ネットワーク認証のオープン化や統合化への要望と、ID 管理として LDAP ベースの認証サーバーへのニーズに応え、オールインワンの認証サーバーアプライアンス「AXIOLE」を発売。機能拡張を継続し、近年では Shibboleth の IdP への対応が強化され、また仮想アプライアンス版、クラウド対応版(Azure 版や AWS 版)など対応プラットフォームを充実させており、現在の主力製品となっています。シングルサインオン機能のアプライアンス製品 SSOcube も民間企業向けを中心に拡販を進めています。

●主な製品シリーズ

- ・ AXIOLE (LDAP系ネットワーク認証サーバーアプリケーション)
AXIOLE 製品専用サイト：<http://www.axiole.jp/>
- ・ eFEREC (エンドポイントネットワークアクセス管理装置)
eFEREC 製品専用サイト：<http://www.eferec.jp/>
- ・ SSOcube (汎用型シングルサインオンアプリケーション)
SSOcube 製品専用サイト：<http://www.SSOcube.jp/>
- ・ SmartSignOn for 旧 FEREC (スマートサインオン) iPhone/iPad 版および Android 版アプリ
SSO4F 専用サイト：<http://www.smartsignon.jp/>

●会社概要

- ・ 本社所在地：東京都港区三田 3-12-16 山光ビル 2F
- ・ 代表者：代表取締役社長 兼 最高経営責任者 西武 進 (にしたけ すずむ)
- ・ 設立：2000年3月
- ・ 資本金：2,000万円
- ・ 事業内容：ネットワーク関連製品の企画・開発・販売
コンピューターネットワークに関するコンサルティング
- ・ URL：<http://www.netspring.co.jp/>

※eFEREC・SmartSignOnは株式会社ネットスプリングの登録商標です。

※記載された会社名および製品名などは、該当する各社の商標または登録商標です。

一般読者からのお問い合わせ先：

株式会社ネットスプリング マーケティング部

TEL：03-5440-7337 E-mail：info@netspring.co.jp